

ノーサイド

北村巖男

す。戦争の惨禍を体験した人は、もう10人に2人もいません。

私たちは、さまざまな本や映画、資料館・記念館での展示、戦跡訪問そして戦争体験者や被爆者である語り部の皆さんの話を聞くことなどを通して、その悲惨な実態の一端に触れて来ています。

しかし、特に語り部の皆さんは著しく高齢化され、人数も減少し、一般に体力も落ちてきています。

しかし、特に語り部の皆さんは著しく高齢化され、人数も減少し、一般に体力も落ちてきています。

しかし、特に語り部の皆さんは著しく高齢化され、人数も減少し、一般に体力も落ちてきています。

8月に

今年(戦後73年)6月15日母本紙当欄でも触れた6月23日に続き、8月6日、8月9日そして8月15日がやってきます。

いづれも私たちが忘れてはならない日です。

こうした中、全ての自衛隊員の皆さんはもうろん、今や私たち日本人の82%以上は戦後生まれで

「当事者」としては、生涯決して忘れ得ない体験で

決して忘れ得ない体験で

決して忘れ得ない体験で

乗せ日本に向け夜間南シナ海を航行中、敵潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没。機関室から辛うじて脱出。多数の邦人、乗員が犠牲に。沈没後、1945年4月、乗艦していた小型海軍輸送艦が岩手県沖で座礁・沈没。

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

「長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。長崎の街は火の海の爆。」

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

言っただけで絶対にはなならないと何度となく

北原 巖男

（きたはらいわお）

中央大学70歳長野県伊

那市高遠町出身。元防衛

施設庁長官。元東ティモ

ール大使。現(一社)日

本東ティモール協会会長